

講義科目名称：文化人類学

授業コード：2210100200

英文科目名称：Cultural Anthropology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎徐淑子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎徐 淑子	【研究室】 316研究室
【本学の科目区分】 教養科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】 ◎		

到達目標	①文化相対主義について、事例を挙げながら他者に説明できる。②現代日本あるいは世界の保健医療問題について、社会・文化的側面に焦点を当てながら、じぶんの考えを説明することができる。
授業概要	生老病死という人類（生物）に普遍のできごとに対し、世界に存するそれぞれの文化・社会は、歴史をとおして、独自の向き合い方を追求してきました。世界各地の人々の、身体や病いとの付き合い方の多様性そのものが、学問的探求心を刺激しますが、グローバル化の進展した現代社会においては、それに加え、よき隣人・よき医療者としてその多様性とどのように向き合っていくのか、一人一人が考えていかなければなりません。このような認識に立ち、この授業では、文化人類学の基礎となる考え方を学びながら、現代医療のさまざまな問題・課題・論点をとりあげていきます。  *各回の進度によって、学習内容は変更されます。どこカレで都度確かめてください。 *授業は、講義、授業内課題、視聴覚教材の視聴によって構成されます。 *ゲスト授業が3回予定されています。
授業計画	1 文化人類学の可能性 学習内容： 看護学・看護実践と文化人類学、文化相対主義 2-3 文化とは 学習内容： 見えない文化、文化と行動パターン、国民性研究、自文化中心主義、文化的ステレオタイプ 4-7 個人・家族・社会 学習内容： 所属集団とアイデンティティ、人種・民族・国家、生殖と結婚、家族・親族 8-10 健康と病気 学習内容： 疾患(disease)と病気(illness)、スピリチュアル・ヘルス、民俗病因論、呪術と宗教、癒しと救済、多元的医療体系、代替補完医療、医療化、健常者幻想、 現代社会と変わりゆく文化 学習内容： 多文化的な状況での看護実践（ゲストスピーカーによる特別授業） 機械と人間の共存（ゲストスピーカーによる特別授業） フィールドワークと表現（ゲストスピーカーによる特別授業） 戦争・戦乱と人々の暮らし、健康 15 まとめと補足
事前・事後学習	①事前学習：「どこカレ」授業ページの受講前アンケートに回答する。アップしてある資料を閲覧する。わからないことばをリストアップする・図書館やインターネットで調べる。 ②事後学習：「どこカレ」にアップしてある動画等を再視聴する。
評価方法、評価基準	評価方法：各回出題の授業内課題（配点30%）、期末レポート（配点70%）。 評価基準：課題およびレポート出題時にお示しします。また、「どこカレ」のコースページにも記します。
必携図書	指定の教科書はありません。必要な資料は、授業時間ごとに配布します。
参考図書・資料等	波平恵美子編(2011)：文化人類学〔カレッジ版〕（第三版），医学書院。 メリル・ワイン・ディビス他(2021)：人類学 for Beginnersシリーズ 109, 現代書館。 セシル・G・ヘルマン他(2018)：ヘルマン医療人類学-文化・健康・病い, 金剛出版。

受講、課題、資料配布等のルール	毎回の授業でみなさんに課題に取り組んでいただきます。課題は、出席票を兼ねますので、忘れずに提出してください。受講にあたって必要な情報や資料は、「どこカレ」のコースページにて提供しますので、受講前後に欠かさず閲覧なさってください。
教員からのメッセージ	外国の文化について学ぶことは、それだけでも有益です。しかし、異なる文化に接して「他者」を知り、その他者を写し鏡にして自己を知ること、そして、じぶんが他者を観察しているだけでなく、逆に、他者からまなざされていると気づくことはもっと重要です。文化人類学が投げかけるこの逆転の思想に触れ、人間の思考や想像力の幅広さを味わいましょう。
オフィスアワー	